

施策名：高齢者が安心して暮らせる地域づくり

事業名	担当課・室名	ページ
在宅高齢者住宅改造助成事業	高齢者福祉課	2 / 8
介護基盤緊急整備事業	高齢者福祉課	3 / 8
地域包括ケアシステム構築推進事業	高齢者福祉課	4 / 8
介護支援専門員資質向上推進事業	高齢者福祉課	5 / 8
認知症在宅ケア強化事業	高齢者福祉課	6 / 8
認知症地域支援体制強化事業	高齢者福祉課	7 / 8
認知症高齢者対策事業	高齢者福祉課	8 / 8

事業名	在宅高齢者住宅改造助成事業		事業期間	平成 6 年度～平成 年度		政策区分	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり
				施策区分	高齢者が安心して暮らせる地域づくり		
総合評価	<b>B</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	高齢者福祉課		評価者	高齢者福祉課長 前田 耕作

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	住み慣れた地域での生活を望んでいるにもかかわらず、住宅の構造や設備が身体状況に対応できていないことから、在宅生活に支障が生じることがある。要支援高齢者などの身体状況等を踏まえ、住宅設備等の改造を行うことが課題となっている。	事業の目的	在宅の75歳以上の高齢者のいる世帯（高齢者のみ世帯及び介護保険認定者のいる世帯は65歳以上）が、住宅設備等をその在宅の高齢者に適するように改造する経費を助成することにより、高齢者の生活の質の向上や介護者の負担を軽減するとともに在宅での生活継続を支援する。
-------	---	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
在宅高齢者住宅改造助成事業	日常生活において直接利用する設備等を在宅高齢者に適するよう改造する経費に対する助成を行う市町村への補助(17市町村)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険住宅改修費の優先利用制度の導入(H12)</li> <li>・介護保険制度により助成を受ける場合の助成基本額を改定(H18)</li> <li>・他制度との均衡を図るため所得制限の見直しを実施〔生計中心者の所得金額が200万円未満〕(H24)</li> </ul>	総コスト	17,080	16,372	18,220
			事業費	16,080	15,372	17,220
			(うち一般財源)	16,080	15,372	17,220
			人件費	1,000	1,000	1,000
			職員数(人)	0.10	0.10	0.10

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	助成を実施した市町村(市町村)	目標値	17	17	17		<b>b</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域ケア会議」の開催など多職種連携のもと、それぞれの高齢者の状態に応じたものとなるよう、介護保険制度における住宅改修費の給付と組み合わせた適切な住宅改造の推進</li> </ul>	
		実績値	17	15					
		達成率	100.0%	88.2%					
	助成した世帯数(件)	目標値	123	123	123				
		実績値	116	111					
		達成率	94.3%	90.2%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	助成交付件数(件)	目標値	123	123	123		<b>a</b>	住宅設備等の改造を行うことにより、在宅での生活の継続と高齢者の身体的負担の軽減とともに介助する家族等の負担軽減が図られた。	
		実績値	116	111					
		達成率	94.3%	90.2%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度における住宅改修費の給付と組み合わせて適宜実施</li> <li>・「地域ケア会議」の開催などを通じた多職種連携のもと、作業療法士など専門家の意見を参考にしうえて、それぞれの高齢者の状態に応じた適切な住宅改造を実施</li> </ul>				

事業名	介護基盤緊急整備事業		事業期間	平成 21 年度～平成 26 年度		政策区分	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり
				施策区分	高齢者が安心して暮らせる地域づくり		
総合評価	<b>A</b>	<b>終了</b>	事業実施課(室)名	高齢者福祉課		評価者	高齢者福祉課長 前田 耕作

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	<p>団塊の世代が65歳以上になり、高齢者が急速に増加していくことから、高齢者の利用ニーズや地域の特性を考慮し、圏域別・市町村別に小規模介護施設等を計画的に整備していかなければならない。</p> <p>また、介護施設等の火災が相次ぎ、消防法上スプリンクラー設置義務のない社会福祉施設にもスプリンクラー整備を行う必要性が生じている。</p>	事業の目的	<p>市町村計画に基づき小規模介護施設等の創設及び増設等を行い、地域の要援護老人に対する介護サービス等の充実を図る。</p>
-------	---	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
介護基盤緊急整備	小規模介護施設等の創設や増設に対して、市町村が工事費等の経費を助成する場合に定額を交付(8施設)	・補助金の交付手続き等の際、原則としてメールにより関係書類を送付することにより、印刷物を抑制	総コスト	1,015,975	579,397	
既存施設のスプリンクラー整備	スプリンクラー設置の義務付けのない施設がスプリンクラー設備等整備を行う経費を助成(1施設)		事業費	1,001,975	565,397	
グループホーム等防災改修	地域密着型施設の防災改修整備経費を助成(2施設)		(うち一般財源)	0	0	
施設開設準備経費助成	施設の開設前の開設準備に要する経費を助成(定員123人)		(うち繰越額)	21,920	232,000	257,000
			人件費	14,000	14,000	
		職員数(人)	1.40	1.40		

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(26年度)	評価	今後の課題	
								今後の課題	
活動指標	小規模施設整備施設数(施設)	目標値	17	8		8	<b>a</b>	・介護基盤緊急整備事業の原資として利用してきた介護基盤緊急整備事業等促進基金事業及び介護職員処遇改善等促進基金事業が繰越事業を除いて平成26年度までで終了するが、平成27年度以降においても、新たな財政支援制度により引き続き市町村計画に基づき小規模介護施設等の創設及び増設等を行い、地域の要援護老人に対する介護サービス等の充実を図る	
		実績値	17	8		8			
		達成率	100.0%	100.0%		100.0%			
	スプリンクラー整備数(施設)	目標値	5	1		1			
		実績値	5	1		1			
		達成率	100.0%	100.0%		100.0%			

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(26年度)	評価	事業の成果	
								事業の成果	
成果指標	小規模特養及び認知症高齢者グループホームの整備床数(累計・床)	目標値	2,385	2,926		2,926	<b>a</b>	市町村計画に基づき小規模介護施設等の創設及び増設等を行い、地域密着型介護サービス等の充実が図られた。	
		実績値	2,467	2,881		2,881			
		達成率	103.4%	98.5%		98.5%			

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	<b>終了</b>	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	-----------	--------	--------	----

今後の事業方針	<p>・介護基盤緊急整備事業の原資として利用してきた介護基盤緊急整備事業等促進基金事業及び介護職員処遇改善等促進基金事業が繰越事業を除いて平成26年度までで終了するが、平成27年度以降においても、新たな財政支援制度により引き続き市町村計画に基づき小規模介護施設等の創設及び増設等を行い、地域の要援護老人に対する介護サービス等を充実</p>
---------	---

事業名	地域包括ケアシステム構築推進事業		事業期間	平成 26 年度～平成 27 年度	政策区分	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり
					施策区分	高齢者が安心して暮らせる地域づくり
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 前田 耕作

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	超高齢化社会（高齢化率が21%超）において、高齢者が地域で安心して暮らせる、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを切れ目なく提供できる仕組み（地域包括ケアシステム）が求められている。	事業の目的	地域ケア会議の充実と地域ケア会議から明らかになった地域課題の解決に取り組む市町村を支援することにより、地域包括ケアシステムの構築を図る。
-------	---	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
地域包括ケアシステム構築にむけた市町村支援 地域ケア会議の定着・向上支援	地域包括ケアシステム構築支援事業費補助金の交付（7市町） 地域ケア会議の専門職派遣調整支援（派遣延べ1,439人） 司会者・助言者向け研修等の開催（6回、受講者延べ1,271人） 広域支援員派遣（延べ26名派遣）	・介護予防（訪問介護・通所介護）職員育成推進事業の 大分県社会福祉協議会への委託	総コスト		46,503	33,138
			事業費		26,503	18,138
地域包括ケアシステムを担う人材の育成	地域包括支援センター職員等研修（3回、受講者計171名） 介護予防（訪問介護・通所介護）職員育成推進事業 （受講者計1,774名）委託先：(社福)大分県社会福祉協議会		(うち一般財源)			6,194
			人件費		20,000	15,000
			職員数（人）		2.00	1.50

活動指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (26年度)	評価	今後の課題	
								地域ケア会議への専門職派遣 延べ人数（人）	目標値
広域支援員派遣延べ人数（人）	実績値	896	1,439						
	達成率	100.0%	100.0%						
	目標値	50	25	25					
	実績値	51	26						
	達成率	102.0%	104.0%						

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (26年度)	評価	事業の成果	
								地域ケア会議実施市町村数 (市町村)	目標値
	実績値	17	18						
	達成率	100.0%	100.0%						

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・地域ケア会議をより実効的なものにするため、市町村におけるリハビリテーション専門職等の配置（派遣含む）を推進				

事業名	介護支援専門員資質向上推進事業		事業期間	平成 26 年度～平成 27 年度	政策区分	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり
					施策区分	高齢者が安心して暮らせる地域づくり
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 前田 耕作

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	要介護者等が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、介護支援専門員には、自立支援型ケアマネジメントの実践が求められる。自立支援型ケアマネジメントを推進するにあたって、法定研修カリキュラムにはない科目等の専門的知識や技術の向上が課題となっている。	事業の目的	自立支援型ケアマネジメントの推進を図るため、介護支援専門員の法定研修に組み込まれていない科目等についての研修を通じて、アセスメント（課題把握）や医療・介護連携の推進等に資する専門的知識、実践的技術の向上を図る。
-------	---	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名		活動内容			効率化の取組状況		コスト	25年度	26年度	27(予算)
介護支援専門員レベルアップ研修開催 主任介護支援専門員実践力向上研修	介護支援専門員に対して、自立支援型ケアマネジメントを実践するために必要な専門的知識、実践的技術の向上を目的とした研修の開催(年3回) 事業所や地域で他の介護支援専門員に対して、適切な助言・指導を行うことができる人材を育成するため、事例検討を中心とした研修会の開催(年1回) 委託先：(NPO)大分県介護支援専門員協会	・法定研修との連動性を持たせるため、法定研修の講師を中心に講師を選定 ・法定研修である主任介護支援専門員研修の委託先である大分県介護支援専門員協会に委託	総コスト		3,818	4,030				
			事業費		818	1,030				
			(うち一般財源)		818	1,030				
			人件費		3,000	3,000				
			職員数(人)		0.30	0.30				

  

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	介護支援専門員レベルアップ研修開催数(回) 主任介護支援専門員実践力向上研修開催数(回)	目標値			3	3		
実績値				3				
達成率				100.0%				
目標値				1	1			
実績値				1				
達成率				100.0%				

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	研修受講者数(人)	目標値			680	580		
実績値				709				
達成率				104.3%				

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・法定研修講師や研修実施機関と連携して法定研修・任意研修を充実させることにより、介護支援専門員に必要な知識・技術を向上				

事業名	認知症在宅ケア強化事業		事業期間	平成 25 年度～平成 年度	政策区分	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり
					施策区分	高齢者が安心して暮らせる地域づくり
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 前田 耕作

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	高齢化の進展に伴う認知症患者の増加への対応と、社会の理解度が低い若年性認知症の人への支援体制の整備が課題となっている。	事業の目的	認知症疾患医療センターの整備により認知症の早期・的確な診断体制を確保するとともに、一般病院の医療従事者の認知症対応力の向上を図ることにより、認知症高齢者への適切な医療提供を進める。また、若年性認知症に関する相談体制の整備を行う。
-------	---	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
認知症疾患医療センター整備	認知症疾患医療センターの設置（6ヶ所） 委託先：緑ヶ丘保養園、加藤病院、千嶋病院、 向井病院、長門記念病院、上野公園病院	・認知症疾患医療センターの運営を6医療法人に委託	総コスト	17,610	25,545	4,704
若年性認知症対策	若年性認知症自立支援ネットワーク会議の設置（1回） 若年性認知症相談機関への研修会の開催(1回)	・一般病院の医療従事者向け認知症対応力向上研修を 県医師会へ委託	事業費	14,610	22,545	1,704
認知症ケア人材育成	一般病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修の実施（6回）		(うち一般財源)	7,042	11,181	852
			人件費	3,000	3,000	3,000
			職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
	認知症疾患医療センターの整備	目標値		3	6	6		<b>a</b>	・認知症疾患医療センターの専門的医療機能及び地域連携機能の一層の機能充実
実績値			3	6					
達成率			100.0%	100.0%					
一般病院の医療従事者向け研修		目標値		2	6	6			
		実績値		2	6				
		達成率		100.0%	100.0%				

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
	認知症疾患医療センターへの 相談件数	目標値		500	800	1,300		<b>a</b>
実績値		858	1,335					
達成率		171.6%	166.9%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症疾患医療センターの各二次医療圏における認知症医療の拠点としての一層の機能充実</li> <li>・研修開催医療機関を医療圏で変化させていくことで、より多くの一般病院の医療従事者の認知症対応力の向上に寄与</li> </ul>				

事業名	認知症地域支援体制強化事業		事業期間	平成 24 年度～平成 26 年度		政策区分	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり
						施策区分	高齢者が安心して暮らせる地域づくり
総合評価	A	終了	事業実施課 (室) 名	高齢者福祉課		評価者	高齢者福祉課長 前田 耕作

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	今後の高齢化のさらなる進展により認知症高齢者が増加する中、在宅や地域で、認知症の初期段階から認知症の人や家族を支援する体制が必要。	事業の目的	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の早期発見から重症化予防、適切な医療の提供体制等、総合的対策に地域で取り組む体制の構築を図る。
-------	---	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
医療対策推進事業	サポート医フォローアップ研修 (2回延べ 56名) 委託先：県医師会 かかりつけ医専門研修 (延べ195人) 委託先：県医師会 認知症地域連携会議の開催 委託先：県医師会 認知症企業サポーターの認定 (-団体) 認知症予防プログラム普及のための検討会の開催 (1回) 認知症予防プログラム普及のための研修会の開催 (1回)	・サポート医フォローアップ研修、認知症地域連携会議、かかりつけ医専門研修を県医師会に委託	総コスト	14,800	13,160	
地域ケア対策支援事業			事業費	4,800	3,160	
予防対策推進事業			(うち一般財源)	1,944	1,448	
			人件費	10,000	10,000	
			職員数 (人)	1.00	1.00	

活動指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (26年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	サポート医フォローアップ研修回数(回)	目標値	2	2		2	a	・研修参加者の拡充	
		実績値	2	2		2			
		達成率	100.0%	100.0%		100.0%			
	かかりつけ医専門研修実施回数(回)	目標値	3	2		2			
		実績値	3	2		2			
		達成率	100.0%	100.0%		100.0%			

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (26年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	大分オレンジドクター (もの忘れ・認知症相談医) 数(人)	目標値	250	300		300	a	認知症に対応できるかかりつけ医を支援する認知症サポート医、通称「大分オレンジドクター(もの忘れ、認知症相談医)」の養成、登録が進んだ。 地域のかかりつけ医、サポート医、認知症疾患医療センター等の連携による在宅や地域での切れ目のない医療体制の構築に向けた仕組みづくりができた。	
		実績値	307	361		361			
		達成率	122.8%	120.3%		120.3%			

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<p>今後の事業方針</p> <p>・事業内容の見直し・整理を行い、平成27年度からは認知症高齢者対策事業 (予算額：1,704千円、目標値：400人) へ移行</p>				

事業名	認知症高齢者対策事業		事業期間	平成 9 年度～平成 年度	政策区分	高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり
					施策区分	高齢者が安心して暮らせる地域づくり
総合評価	<b>B</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 前田 耕作

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	今後の高齢化のさらなる進展により、認知症高齢者数が急速に増加することが見込まれる。	事業の目的	認知症に対する県民の正しい知識の普及啓発を行うとともに、認知症介護実務者等に対し、介護に関する実践的研修を実施し介護技術の向上を図ることにより、認知症高齢者に対する介護サービス等の充実を図る。
-------	---	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
認知症高齢者支援ネットワーク推進事業	認知症サポート医養成研修(3名の中央研修派遣：1回) 認知症キャラバン・メイトの養成、正しい知識の普及啓発 ※認知症キャラバンメイトとは、普及啓発活動である認知症サポーター養成講座の講師役	・国立長寿医療研究センターにサポート医養成研修を委託	総コスト	12,340	13,805	50,331
認知症介護実践者等養成事業	認知症介護実践者、リーダー、指導者フォローアップ研修の実施(5回 287人) 認知症対応型サービス事業者管理者・開設者研修(各2回 118人) 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修の実施(2回 27人) 委託先：大分県社会福祉介護研修センター 認知症介護研究・研修東京センター	・認知症介護実践者研修等を(社福)大分県社会福祉協議会に委託	事業費 (うち一般財源)	11,340 2,302	12,805 2,193	38,331 15,045
			人件費	1,000	1,000	12,000
			職員数(人)	0.10	0.10	1.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	研修回数(回)	目標値	12	12	12		a	今後の課題	・研修参加者の拡充を図る
		実績値	11	11					
		達成率	91.7%	91.7%					
	認知症キャラバンメイト新規登録数(人)	目標値	140	190	200				
		実績値	131	188					
		達成率	93.6%	98.9%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	研修修了生数(人)	目標値	523	523	523		b	事業の成果	認知症高齢者の介護に関する知識や技術等の各種研修を実施し、介護保険サービスの質の向上が図られた。また、認知症に関する県民理解の促進を図った。
		実績値	475	432					
		達成率	90.8%	82.6%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・各種研修参加者や講師の意見を参考に研修内容を充実				